

## 創刊号の刊行に当たって

平成21年4月1日、亜細亜大学経営学部の新学科「ホスピタリティ・マネジメント学科」がスタート致しました。振り返れば、1970（昭和45）年に亜細亜大学が「ホテル・観光学講座」を開設して以来の念願が、ここに成就したことになります。関係各位のご尽力に心から御礼申し上げます。新学科が今後にもさらに順調に発展していかなければならない使命を考えますと、まさに身が引き締まる思いです。

大学の使命が教育と研究にあるとすれば、教育はカリキュラムに象徴され、研究は紀要に象徴されます。新学科での研究を世に発信し、また学生への最先端の知見の提供は、今回から刊行されます紀要『ホスピタリティ・マネジメント』が担うこととなります。ここにその創刊号が刊行できますことは、大学にとりましても新学科にとりましても、誠に有意義なことと存じます。本紀要の刊行に際し、ご尽力賜りました関係各位に心から御礼申し上げます。誠に有難うございます。

紀要『ホスピタリティ・マネジメント』には、大きな特徴があります。新学科がホスピタリティ産業、特に、ホテル、フードサービス、トラベル、パッセンジャーサービスそしてメンバーシップクラブの5領域を中心に、理論実務融合型の教育を目指し、幅広い知見と卓越したマネジメント力を修得し、実務遂行力を有し、ホスピタリティ・マインド豊かな人材を社会に送り出すことを目的としていることから、学内での講義のほかに、学外での実際の現場や最先端の事項を学習する内容を確保し、社会と交流することが重要な要素となります。当該分野はまだ未開発の状態にあるといわざるをえません。学生も教員も共に切磋琢磨しなければなりません。そのためには、本紀要もその目的に適合した紀要であることが要求されることから、従来の大学紀要より広い範囲で編集されます。すなわち、学術論文は勿論ですが、より実践的な調査報告や事例研究、実験報告、企画提案、研修や演習の報告など、広くホスピタリティ・マネジメントに関連する成果が公表されます。

学科設置に当たり、外部からホスピタリティ・マネジメント関係を専門とする第一線級の研究者および実務家に来て戴き、ホスピタリティ・マネジメント教育と研究は一層充実したものになりました。従来から経営学部にて教育と研究に携わってこられたスタッフも含めて、本学の豊富な執筆陣を背景に、執筆陣は実務界で活躍する実務家も含めた範囲まで広げられますが、紀要の質の確保の観点から、投稿原稿はすべて本紀要編集委員会が審査を行い、所定の水準に達したものだけが掲載されることとなります。

以上より、紀要『ホスピタリティ・マネジメント』の創刊号の刊行に当たって、本紀要がホスピタリティ・マネジメント分野でのリーディングの紀要となり、ホスピタリティ産業の発展に寄与すべく、スタッフ一同、全力で邁進することをここに謹んで誓います。

2010年1月吉日

亜細亜大学経営学部  
学部長 大島正克